



資 料 編



「ともに生き ともに創る 心ふれあう幸せのまち」を目指して

地域福祉アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、平素から市政に関するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、名張市では、社会情勢の大きな変化を背景に、生活課題や福祉ニーズが高度・多様化することに対応して、市民の皆様をはじめとする多様な主体が協働して、効果的に地域福祉を推進するため、「名張市地域福祉計画」を平成17年3月に策定しました。第1期の計画が本年度で終了するにあたり、第2期計画(平成22年度～平成26年度)を策定いたします。

この新しい計画は、市民の皆様と共に、自分たちの街にふさわしい福祉のあり方について考え、協働してつくっていきます。このため皆様の考え方やご意見をお伺いいたしたく、アンケート調査を実施する事にいたしました。アンケートを通じて寄せられたご意見を大切にしながら計画の策定と今後の地域福祉の推進に活用させていただきます。

今回の調査は、本市在住の20歳以上の方の中から無作為に2,000名の方を抽出いたしました。ご記入いただいた内容については統計的に集計・分析し、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成21年7月

名張市長 亀井利克

ご記入、ご返送のお願い

- 回答は無記名でご記入ください。
- 記入された調査票は、そのまま同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、
7月31日(金)までに投函してください。
- この調査に対するお問い合わせ先
名張市 健康福祉部 健康福祉政策室 電話63-7579

地域住民の相互の社会的なつながりの希薄化や少子・高齢化が急激に進行する社会環境の中で、新しい観点から、福祉はもとより健康・医療などの関連分野を含めた、住民参加による地域福祉計画づくりが求められています。

地域福祉とは、地域の一人ひとりが主役となって、住み慣れた地域社会のなかで、人としての尊厳を持ち、生き生きとそれぞれの個性を発揮し、共に支え合い、安心して幸せな自立した生活が送れる住みよい「福祉のまちづくり」の取り組みです。

問8 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号に○をつけて下さい

1. 名張地区	桜ヶ丘、平尾、丸之内、中町、上本町、柳原町、鍛冶町、本町、新町、南町、豊後町、木屋町、元町、榊町、栄町、松崎町、朝日町、上八町、東町、鴻之台1～5、希央台1～5
2. 蔵持地区	蔵持町里、蔵持町原出、蔵持町芝出、緑が丘東・中・西
3. 薦原地区	薦生、八幡、西田原、鷺山、家野、葛尾、さつき台1・2番町
4. 錦生地区	黒田、結馬、井手、安部田、矢川、上三谷、竜口
5. 比奈知地区	下比奈知、上比奈知、滝之原、富貴ヶ丘1～6番町
6. 美旗地区	新田、美旗中村、東田原、上小波田、下小波田、西原町、南古山、美旗町池の台東・西、美旗町中1・2・3番、美旗町南西原、美旗町藤が丘
7. 赤目地区	赤目町丈六、赤目町相楽、赤目町檀、赤目町柏原、赤目町星川、赤目町一ノ井、赤目町長坂、赤目町新川、赤目町すみれが丘
8. 箕曲地区	夏見（横内を除く）、瀬古口、箕曲中村、中知山
9. 国津地区	神屋、奈垣、布生、長瀬、上長瀬
10. 桔梗が丘地区	桔梗が丘1番町1～6街区、桔梗が丘2番町1～7街区 桔梗が丘3番町1～4街区、桔梗が丘4番町1～7街区 桔梗が丘5番町1～12街区、桔梗が丘6番町1～3街区 桔梗が丘7番町1～3街区、桔梗が丘8番町1～5街区 桔梗が丘南1番町1～3街区、桔梗が丘南2番町1・2街区 桔梗が丘南3番町1～3街区、桔梗が丘南4番町1街区 桔梗が丘西1番町、桔梗が丘西2番町1～3街区 桔梗が丘西3番町1～3街区、桔梗が丘西4番町1～3街区 桔梗が丘西5番町1～3街区、桔梗が丘西6番町1・2街区 桔梗が丘西7番町
11. つつじが丘地区	つつじが丘北1～10番町、つつじが丘南1～8番町、春日丘1～7番町
12. すずらん台地区	すずらん台東1～5番町、すずらん台西1～4番町
13. 川西梅が丘地区	大屋戸、松原町、夏秋、短野、下三谷、梅が丘南1～5番町、梅が丘北1～5番町
14. 青蓮寺百合が丘地区	夏見のうち横内の区域、青蓮寺、百合が丘東1～9番町、百合が丘西1～6番町、南百合が丘

つぎに、地域福祉に関することをおうかがいします。

問9 福祉に関する次の用語をご存知ですか。(1)～(4)について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

	よく知っている	大体、知っている	聞いたことがある	知らない
(1) ノーマライゼーション	1	2	3	4
(2) バリアフリー	1	2	3	4
(3) ユニバーサルデザイン	1	2	3	4
(4) 成年後見人制度	1	2	3	4

問10 適切な福祉サービスを供給するために、何を最も充実させるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 福祉サービスを提供する事業所の設置数を増やしたり、設備を充実させる |
| 2. 社会福祉士、介護福祉士等の福祉専門職を増やす |
| 3. 福祉サービスに関する情報を提供する |
| 4. 福祉サービスに関する相談体制を充実させる |
| 5. 住民による福祉ボランティア活動を活発にさせる |
| 6. その他(具体的に) |

問11 名張市では、地域福祉に関わる計画として次のような計画をつくっていますが、あなたをご存知ですか。(1)～(8)について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけて下さい。

	よく知っている	大体、知っている	聞いたことがある	知らない
(1) 総合計画	1	2	3	4
(2) 地域福祉計画	1	2	3	4
(3) 老人保健福祉計画・ 介護保険事業計画	1	2	3	4
(4) 障害者福祉計画	1	2	3	4
(5) 障害福祉計画	1	2	3	4
(6) ばりっ子すくすく計画	1	2	3	4
(7) 次世代育成支援行動計画	1	2	3	4
(8) 健康なばり21計画	1	2	3	4

問12 高齢者が住みやすいまちづくりを進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. おもに家族が支え、足りない部分を公的サービスや地域住民同士の協力で補う。 |
| 2. おもに地域住民同士が協力して支えあい、足りない部分を公的サービスが補う。 |
| 3. おもに公的サービスを充実させ、足りない部分を地域住民同士の協力で補う。 |

問13 障害者が住みやすいまちづくりを進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. おもに家族が支え、足りない部分を公的サービスや地域住民同士の協力で補う。 |
| 2. おもに地域住民同士が協力して支えあい、足りない部分を公的サービスが補う。 |
| 3. おもに公的サービスを充実させ、足りない部分を地域住民同士の協力で補う。 |

問14 子どもを健やかに育てるために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. おもに家族が支え、足りない部分を公的サービスや地域住民同士の協力で補う。 |
| 2. おもに地域住民同士が協力して支えあい、足りない部分を公的サービスが補う。 |
| 3. おもに公的サービスを充実させ、足りない部分を地域住民同士の協力で補う。 |

問15 地域活動を活発化するために重要な施策は何であるとお考えですか。あてはまるもの3つまでに○をつけて下さい。

- | |
|-----------------------------------------------|
| 1. 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする |
| 2. 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する |
| 3. 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う |
| 4. リーダーや福祉活動に携わる人を養成する |
| 5. 地域における福祉活動の相談・指導を行う |
| 6. 専門職員の充実を図る |
| 7. 困っている人と、助けることのできる人との調整を図る人材を育成する |
| 8. 困っている人や、助け合いの場等についての情報を得やすくする |
| 9. 介護やボランティア活動の方法等に関する研修を行う |
| 10. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する |
| 11. その他（ ） |

問16 名張市には、地域福祉を推進するために、「名張市社会福祉協議会」や「地区社会福祉協議会」があります。あなたはこのような組織を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

A. 社会福祉協議会について	

1. 名前も活動内容も知っている	

2. 名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない	

3. 名前も活動内容も知らない	

B. 地区社会福祉協議会について	

1. 名前も活動内容も知っている	

2. 名前は聞いたことがあるが活動内容は知らない	

3. 名前も活動内容も知らない	

つぎに、近所づきあいや地域での活動に関することをおうかがいします。

問17 今の近所づきあいに満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. かなり満足している	2. まあまあ満足している
-----	-----
3. 少し不満がある	4. 大いに不満がある

問18 あなたが現在お住まいの地域では、区や自治会、子ども会、老人クラブ、消防団などの活動は盛んだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 非常に盛んであると思う	2. ある程度は行われていると思う
-----	-----
3. ほとんど活動は行われていないと思う	4. わからない

問19 あなたが現在お住まいの地域のくらしやすさはいかがですか（○は各項目に1つだけつけて下さい）。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
(1) 隣近所などとのつきあい	1	2	3	4
(2) 近隣の生活マナー	1	2	3	4
(3) 自治会や町内会の活動	1	2	3	4
(4) 地域でのボランティア活動	1	2	3	4
(5) 地域の防災体制	1	2	3	4
(6) 保健・福祉サービスや相談体制	1	2	3	4
(7) 病院など医療関係施設	1	2	3	4
(8) 買い物などの便利さ	1	2	3	4
(9) 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4
(10) 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4
(11) 公民館活動など文化教養活動	1	2	3	4
(12) 公園や緑地などの自然環境	1	2	3	4
(13) 地域の雰囲気やイメージ	1	2	3	4

問20 地域における人とのつきあいや地域との関わりについて、あなたの考えはつぎのどれにあてはまりますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい
2. 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加していきたい
3. 隣近所の協力はあてにできないので、自分のことは自分です
4. 時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わるほうがよい
5. 地域社会のためであっても、自分の生活・時間を大切にしたいので地域と関わりは持ちたくない
6. その他（ ）

問21 地域での活動への参加や利用を活性化するためにどのようなことが必要だとお考えですか。ご自由にお答え下さい。

問22 福祉に関わるボランティア活動や助け合い活動がどのような形で行われるのがよいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 必要とする人への活動は無償で行う
2. 必要とする人への活動を交通費などの実費をもらって行う
3. 必要とする人への活動を一定の報酬をもらって行う
4. 地域通貨（エコマネー）やボランティア切符など、助け合いを交換し合う仕組みで活動をする
5. 近所や仲間同士などでお互いに助け合いの活動をする
6. その他（ ）
7. わからない

問23 福祉に関わるボランティア活動や助け合い活動への参加や利用を活性化するためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに○をつけて下さい。

1. ボランティア活動のPR、情報提供や相談窓口の充実
2. 子どもの時から、学校などでボランティア教育・体験活動の促進
3. 体験の場、入門講座、技術講習など人材発掘・育成
4. 保険加入や交通費等の実費が支給できる体制づくり
5. ボランティア活動の連絡・連携体制の充実
6. 個人で登録し、特技や自由時間を生かして活動ができる体制づくり
7. 地域通貨（エコマネー）、ボランティア切符など相互に助け合う体制の整備
8. 法人格の取得支援など、ボランティア組織の安定的な運営の促進
9. 活動に必要な場所や備品などが利用できる体制の整備
10. ボランティア感謝状の贈呈、マスコミでの紹介など社会的な評価
11. 労働時間の短縮やボランティア休暇制度などの整備
12. 特別な条件整備は必要ない

問24 上の問以外に、福祉に関わるボランティア活動や助け合い活動への参加や利用を活性化するためにどのようなことが必要だとお考えですか。ご自由にお答え下さい。

名張市の福祉サービスに関することをおうかがいします。

問25 福祉全般に関するあなたのお考えやご意見をお聞かせ下さい。

--

在宅ケアに関することをおうかがいします。

問26 あなたの家族(ご自身含む)に在宅で看護・介護が必要な人がいらっしゃいますか。

1. いる	2. いない
-------	--------

問27 問26で「1 いる」と答えた方のみ、お答え下さい。必要なサービスは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 保健師・看護師による訪問看護
2. 医師・歯科医師・薬剤師による訪問診療や薬の服薬管理についての指導
3. 福祉施設等の福祉サービスの利用 (デイサービス、ショートステイ、ヘルパーによる日常生活の援助)
4. 生活用具(車椅子、特殊寝台など)の給付・貸出サービス
5. 住宅改修

問28 あなたは、在宅医療に対してどのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. かなり満足している	2. 満足している
3. 不満がある	4. 大いに不満がある
5. わからない	

問29 例えば、あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6ヵ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. なるべく早くに医療機関又は緩和ケア病棟（終末期における病状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい
2. 自宅で療養して、必要になれば医療機関又は緩和ケア病棟に入院したい
3. 自宅で最期まで療養したい
4. その他

問30 あなたは自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 可能である
2. 困難である
3. わからない

問31 問30で「2 困難である」と答えた方のみ、お答え下さい。どうして困難であるとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 往診してくれるかかりつけの医師がない
2. 在宅療養を見守ってくれる体制が整っていない
3. 介護してくれる家族がない。又は家族も高齢者でお互い介護が困難である
4. 症状が急に悪くなったときにすぐに病院へ入院できるか不安である
5. その他

以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒で無記名でご返送下さい。

5. 第1次地域福祉計画の取組結果

(1) 目標指標の達成状況

第1期地域福祉計画における施策目標

施策目標1 心豊かな福祉文化の創造

人間尊重を原点に、一人ひとりが相互に認め合い支え合う心豊かな暮らしと社会を実現するため、福祉と教育を結び、福祉を支える人と心豊かな福祉文化を創造します。

施策目標2 地域づくりと連携して進める福祉のまちづくり

都市内分権を推進し、市民参加を促進しながら住民主体の地域づくりと一体的に福祉のまちづくりに取り組みます。

施策目標3 相互に支え合う信頼の絆づくり

まちに暮らす人々が、相互にふれあい、支え合うしくみを整え、人と人、地域と地域を結ぶ信頼の絆を創造します。

施策目標4 自立を支援する質の高い福祉サービスの提供

自立を支援する福祉サービスの適正な利用を促進するとともに、利用者本位の質の高い多様なサービスが提供できるような体制を整えます。

施策目標5 総合的かつ持続可能な福祉施策の推進

社会の変化に対応して市民の健康で安心な暮らしを支えるため、戦略的かつ重点的な施策展開を行うとともに、福祉を視点に市民とともに協働して新しい公を創造します。

第1期地域福祉計画における目標指標の取組結果として、2008年度(平成20年度)の実績は別表のとおりです。目標値の達成ができなかった部分については、名張市総合計画後期基本計画における指標と整合性を図りながら、第2期地域福祉計画に継続して盛り込んでいく必要があります。2008年度(平成20年度)の各目標指標の達成状況について、特に2009年度(平成21年度)の目標値に対して達成が難しいと思われる項目についてみていきます。

福祉ボランティアの登録

「施策目標1 心豊かな福祉文化の創造」における「審議会等への女性参画率」は、行政が引き続き取組んでいくべき課題です。「福祉ボランティア登録数」については、今後、団塊世代の大量退職により、これらの方が地域やボランティアの活動に新たに参加していただけるためのしくみを用意し、地域を支えていただく必要があります。

ボランティア関係者数、地域ビジョンの策定

「施策目標 2 地域づくりと連携して進める福祉のまちづくり」では、「地域ビジョンの策定」、「ボランティアアドバイザー数」において目標値の達成が難しい状況となっております。「地域ビジョンの策定」については、今回の地域づくり組織の見直しを踏まえ、地域の現状に応じた取り組みが必要と考えています。また、「ボランティアアドバイザー数」については、施策目標 1 の「福祉ボランティア登録数」の取組と合わせて、市社会福祉協議会と一緒に集中的に取組む必要があります。

地域通貨、ご近所づきあいのあり方

「施策目標 3 相互に支え合う信頼の絆づくり」の「地域通貨の活用」については、他市での取組状況などを見ると、成功例がほとんど見られませんでした。近年、さまざまな支え合いのしくみに合わせた地域通貨等の取組が進められ始めていることから、本市においても積極的に地域通貨の導入の検討をします。また、「近隣の付き合いに満足する市民の割合」については、特に近年の地域福祉の課題としてあげられる近隣関係を取り戻すための取組について、具体的に重点事業として実践していきます。

「施策目標 4 自立を支援する質の高い福祉サービスの提供」については、目標値は全て達成されています。

総合的・持続可能な福祉行政

「施策目標 5 総合的かつ持続可能な福祉行政の推進」では、目標値の達成が難しいであろう「成人週 1 回以上スポーツ実施率」、「保育所待機児童数」、「初発型非行件数」について、行政目標として据え置き、目標値を新たに設定して取り組んでいきます。

	2007年度 目標値	2009年度 目標値	2008年度 実績
1. 心豊かな福祉文化の創造			
人権のまちづくり取り組み地区数	3地区	14地区	3地区
審議会等への女性参画率	25.0%	30.0%	27.6%
福祉ボランティア登録数	2,900人	3,400人	2,566人
2. 地域づくりと連携して進める福祉のまちづくり			
自治基本条例の制定	制定	推進	運用
地域ビジョン策定地区数	5地区	14地区	0
市民活動に参加する市民の割合	25.0%	30.0%	28.3%
ボランティアコーディネーター数	2人	5人	5人
ボランティアアドバイザー数	50人	80人	41人
地区保健福祉センター(まちの保健室)設置数	5箇所	14箇所	14箇所
夢づくり広場(小規模複合施設)数	60箇所	100箇所	111箇所
3. 相互に支え合う信頼の絆づくり			
地域通貨の活用	導入・活用	活用	していない
近隣の付き合いに満足する市民の割合	85.0%	88.0%	77.7%
4. 自立を支援する質の高い福祉サービスの提供			
保健福祉サービスや相談体制の満足度	49.0%	55.0%	56.0%
市民福祉ガイドブックの作成・活用	作成・活用	活用	活用
地区保健福祉センター設置数(再掲)	5箇所	14箇所	14箇所
夢づくり広場数(再掲)	60箇所	100箇所	111箇所
5. 総合的かつ持続可能な福祉行政の推進			
成人週1回以上スポーツ実施率	42%	50%	36.5%
要介護認定率	18.0%	16.5%	17.6%
保育所待機児童数(年間ベース)	20人	解消	3人
初発型非行件数	80件	70件	77件
障害者に対する住民の理解度が 進んでいるとする市民の割合	22.0%	30.0%	51.5%